



2019年度  
(2019年4月～2020年3月)  
**決算の概況**

2020年5月20日



# 目次

---

2019年度決算のポイント	.....	2
連結損益計算書	.....	3
連結売上高と利益推移	.....	4
連結貸借対照表	.....	5
連結キャッシュフロー	.....	6
連結セグメント別業績	.....	7
連結セグメント別業績推移	.....	8
2020年度の連結業績予想	.....	9

# 2019年度決算のポイント

- 米中貿易摩擦によって世界経済が影響を受ける中、期末にかけて新型コロナウイルスの世界的拡大により景気は急減速、未だ先行きが見通せない状況です。米国においてはエネルギー業界の低迷を受け、米国子会社にて損失を計上したことにより、前年度比減収・減益となりました。

・売上高	9,360億円	(前年同期比	△165億円、1.7%減)
・経常利益	39億円	(	△41億円、50.8%減)
・当期純利益	16億円	(	△34億円、67.5%減)

- 自己資本比率は18.4% (前年度末実績 17.1%)

## ➤ 配当

中間 55円/株実施、年間 90円/株予定  
(前年度実績 中間 55円/株、年間 110円/株)

# 連結損益計算書

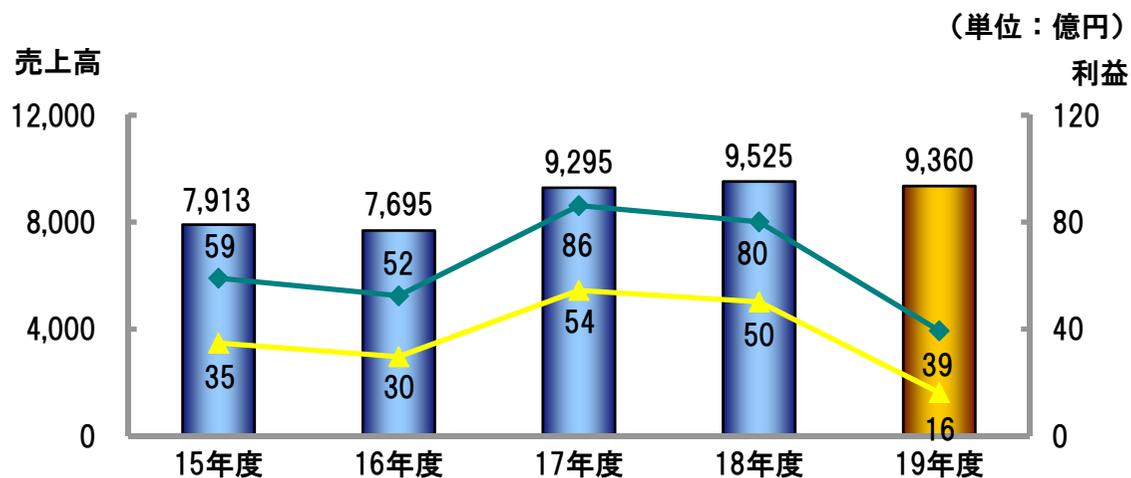
(単位:億円)

	18年度	19年度	増減額	増減率
売上高 (3/31 公表値)	9,525	9,360 (9,360)	①△165	△1.7 %
売上総利益	316	299	② △17	
販売管理費	△237	△251	③ △14	
営業利益 (3/31 公表値)	79	48 (54)	△31	△39.0 %
営業外損益	1	△9	△10	
経常利益 (3/31 公表値)	80	39 (48)	△41	△50.8 %
特別損益	△12	△9	④ 3	
法人税等	△18	△14	4	
当期純利益 (3/31 公表値)	50	16 (25)	△34	△67.5 %
1株当たり当期純利益	566.81 円	184.03 円		
1株当たり配当金	110.0 円	90.0 円		

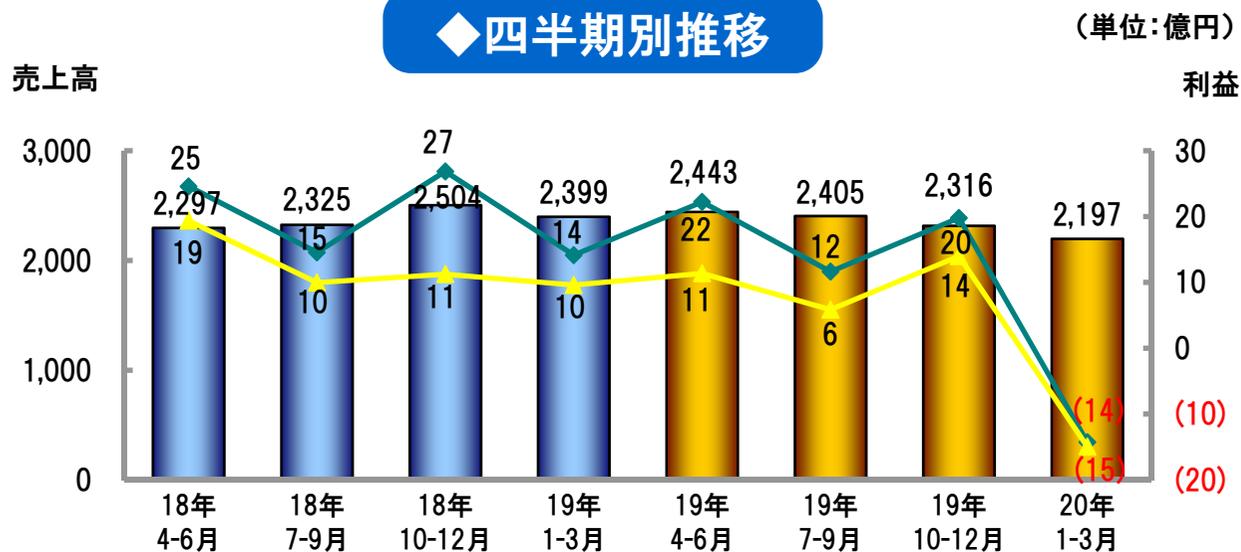
①売上高 単体	△132
・鉄鋼	△6
・鉄鋼原料	+51
・非鉄金属	△193
・機械・情報	+23
・溶材	△7
海外子会社	△32
(7/1カ△53、神鋼商貿△30、外+19他)	
国内子会社	+23
連結調整	△24
計	△165
②売上総利益 在庫評価損(米国)	△18 他
③販売管理費 人件費	△2
賃借料	△3
貸倒引当金(米国)	△6 他
④特別損益 18年度 投資有価証券評価損	△15 他
19年度	" △9

# 連結売上高と利益推移

- 売上高
- 売上高(19年度)
- ◆ 経常利益
- ▲ 当期純利益



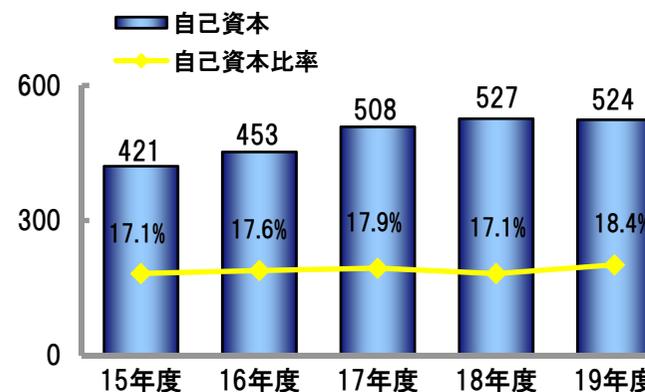
## ◆ 四半期別推移



# 連結貸借対照表

(単位:億円)

	18年度	19年度	増減額	増減の概要
流動資産	2,654	2,412	△242	売上債権△275 他
固定資産	422	433	11	
有形・無形固定資産	95	103	8	
投資その他の資産	328	330	2	
資産合計	3,076	2,845	△231	
流動負債	2,242	2,009	△233	仕入債務 △224 他
固定負債	285	290	5	
負債合計	2,527	2,299	△228	
自己資本	527	524	△3	利益剰余金 +7、評価・換算差額等 △8
非支配株主持分	23	21	△2	
純資産	549	546	△3	
外部有利子負債	626	658	32	
自己資本比率	17.1%	18.4%	1.3%	
D/Eレシオ	1.2倍	1.3倍	0.1倍	
1株当たり純資産	5,946.3円	5,920.3円		

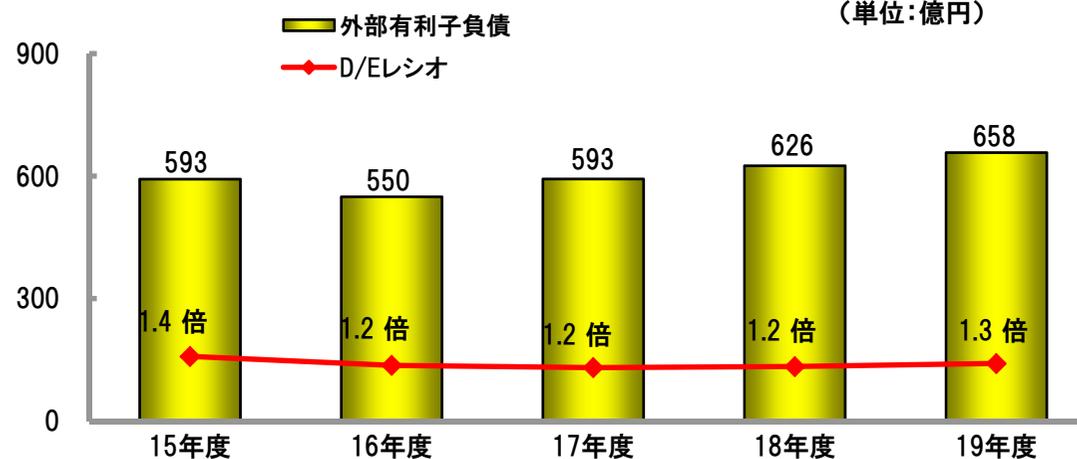


# 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

	18年度	19年度	増減額
営業活動によるCF	△133	+127	+260
投資活動によるCF	△20	△36	△16
フリーキャッシュフロー	△153	+91	+244
財務活動によるCF	+21	+20	△1
総合キャッシュフロー	△132	+111	+243

(単位:億円)

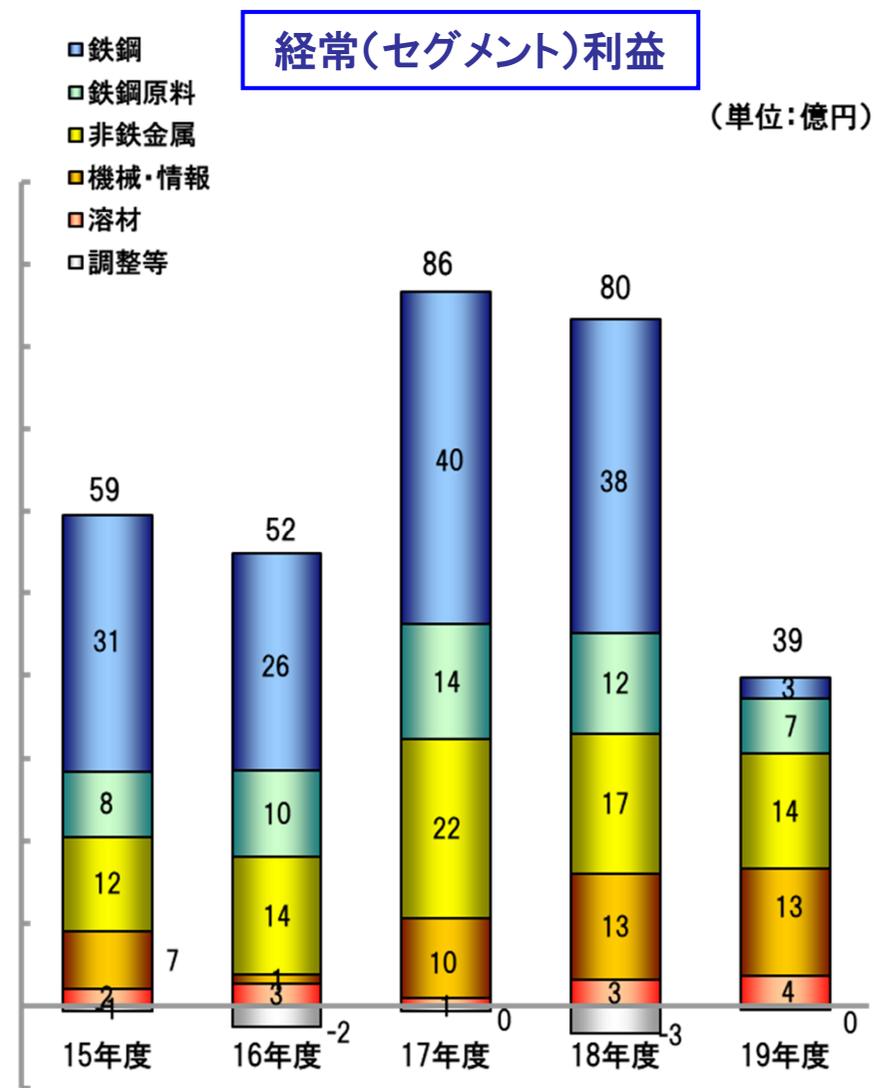
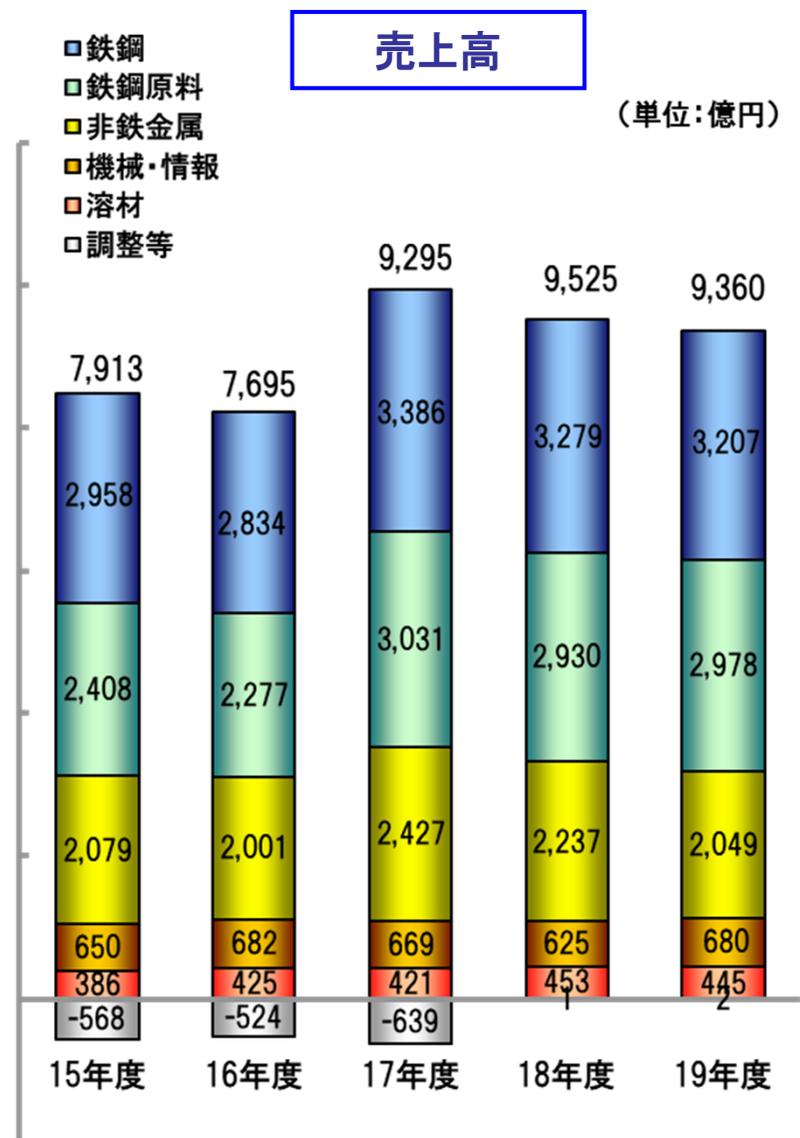


# 連結セグメント別業績

(単位:億円)

		18年度	19年度	増減額	増減率	売上高・利益の状況
鉄鋼	売上高	3,279	3,207	△73	△2.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鋼板：国内向け取扱量減少、価格横這い。輸出は取扱量減少、価格は下落</li> <li>●線材：国内向けは取扱量減少、価格は上昇。輸出は横這い</li> <li>●米国子会社の販売不振</li> </ul>
	セグメント利益	38	3	△36	△93.1%	
鉄鋼原料	売上高	2,930	2,978	48	1.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●神戸製鋼所向け輸入鉄鋼原料：取扱量が増加</li> <li>●冷鉄源：取扱量増加、価格は下落</li> <li>●合金鉄：取扱量が減少</li> </ul>
	セグメント利益	12	7	△6	△45.4%	
非鉄金属	売上高	2,237	2,049	△188	△8.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●銅製品：空調用銅管の取扱いは堅調も、自動車向け及び半導体向け銅板条の取扱が減少</li> <li>●アルミ製品：液晶向け取扱量が減少。自動車向けは増加</li> <li>●非鉄原料：銅スクラップ取扱増加、アルミ原料の取扱は減少</li> </ul>
	セグメント利益	17	14	△2	△17.9%	
機械・情報	売上高	625	680	56	8.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機械製品：大型圧縮機、重機用部材、電池用材料の取扱が増加、蒸気エネルギー関連は減少</li> <li>●情報産業関連：ハードディスク関連機器・PC部品の取扱が増加するも、液晶電子材料等の取扱が減少</li> </ul>
	セグメント利益	13	13	1	0.4%	
溶材	売上高	453	445	△7	△1.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●溶接材料：造船・自動車・建機向けの取扱いは堅調も、鉄骨向け及び輸出は減少</li> <li>●溶接関連機器：汎用溶接機は堅調、溶接ロボットの輸出は減少</li> <li>●生産材料：溶剤原料は取扱量減少</li> </ul>
	セグメント利益	3	4	0	17.1%	
調整等	売上高	1	2	0	—	
	セグメント利益	△3	△0	3	—	
連結	売上高	9,525	9,360	△164	△1.7%	
	経常利益	80	39	△41	△50.8%	

# 連結セグメント別業績推移



## 2020年度の連結業績予想

---

新型コロナウイルスの世界的な拡大が当社業績に及ぼす影響を現時点では見通すことが困難なため、2020年度の業績予想については未定としております。

業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

---

**KOBELCO**  
神戸製鋼グループ